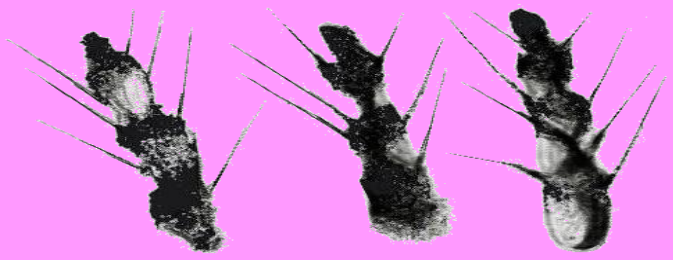


いおぎだより

令和４年度１月号　　杉並区立井荻小学校　　令和５年１月１０日発行　No.６６６

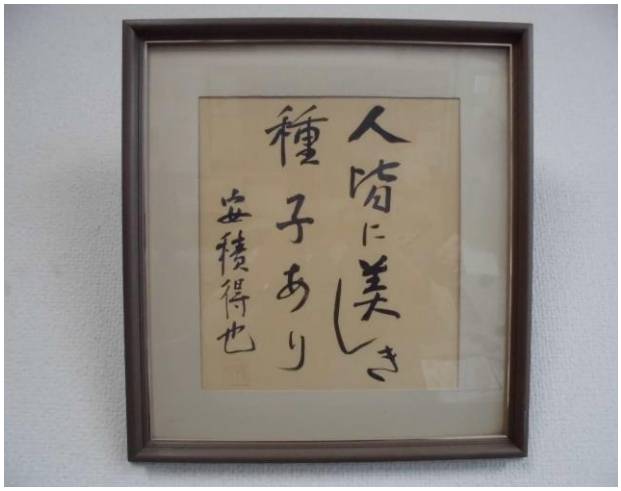
人皆（ひとみな）に　美（うつく）しき種（たね）子あり

校長　田中　裕次

新しい年の始まりをお祝い申しあげますとともに、謹んで保護者の皆様、地域の皆様のご多幸を心よりお祈り申しあげます。

今年は、卯の年です。2023 年の干支は「癸卯」（みずのと・う）です。「癸」（みずのと）は物事の終わりと始まりを意味する他に、「種子が計れるほどの大きさになり、春間近でつぼみが花開く直前」という意味があります。「卯」は冬の門が開き、飛び出るという意味があるそうです。二つを組み合わせると『これまでの努力が花開き、実り始める』といった縁起の良いイメージがあるようです。井荻っ子たちの夢や目標に向かう努力が実る一年になってほしいと願っています。

さて校長室に詩人 安積得也（あずみとくや）さんの詩が飾られています。社会評論家で詩人、県知事を勤めた安積得也さんの「明日」という詩の一節です。校長室で煮詰まると、この詩を眺めながら物事を考えています。



安積さんは「人には種子がある」と詩っています。種子は地球上に 20～30 万種あるといわれています。大きさ、色、形は様々で重さもちがいます。人も一人として同じ人間はいません。種子とは**『人がみんな必ずもっているもの』**であり、美しきとはその人の**『良さ』**を表しているのだと思います。子どもたちのもっている良さは様々です。その良さを見出し、自分自身や周りが大切にしていくことが重要です。杉並区教育ビジョン『みんなのしあわせを創る杉並の教育』にも**ちがいを認め合い、自分らしく生きる**ことが示されています。残念なことに人は、違うことやマイノリティを受け入れることが苦手です。他者への想像力を働かせることができにくいからです。

「人の心の痛みのわかる人間になろう」この言葉は私が教師をめざすきっかけとなった恩師の言葉です。この言葉をこれまでの教え子たちに伝えてきました。想像力を働かせることが難しい世の中だからこそ、常に心に留め置き、周りに敏感でありたいと思うわけです。

種子はそのままでは育ちません。水や空気、適度な温度といった条件が揃い発芽します。子どもたちの良さが育つには慈愛に包まれた様々な関わりが必要です。今年も子どもたちの良さを見出し、たくましく伸びていけるよう保護者の皆様、地域の方々と力を合わせ、「どの子も伸びて、学び合う学校」（共育）づくりに教職員一同、全力で取り組んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

１月行事予定

1	日	元日
2	月	振替休日
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	冬季休業日終
8	日	
9	月	成人の日
10	火	３学期始業式　午前授業
11	水	給食始まり
12	木	安全指導　５時間授業　B 時程 計測（６年生）　SC
13	金	５時間授業　計測（５年生）
14	土	土曜クラブ（井草囃子・お箏・いけばな）
15	日	
16	月	全校朝会　委員会　計測（４年生） 短なわチャレンジ始まり　★
17	火	計測（３年生）
18	水	計測（２年生）
19	木	計測（１年生）　SC
20	金	
21	土	土曜授業　いおぎアートフェスタフェスタ 学校運営協議会 9:30～　環境サミット（4・5年　有志参加）
22	日	
23	月	全校朝会　５時間授業
24	火	
25	水	
26	木	SC
27	金	短なわチャレンジ終わり
28	土	土曜授業（テニス・チャレンジキッズ（ぬうクラブ）） 善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業（6年　有志参加）
29	日	
30	月	全校朝会　５時間授業
31	火	

スクールカウンセラー来校日…ＳＣ
給食費引き落とし日…★
３学期の避難訓練は予告なしで実施します。

マスコットキャラクター
「イオギン」

１月の生活目標
「心と体をきたえよう」

生活指導部　深津　佐知子

３学期がスタートしました。今朝のお子さんの様子はいかがだったでしょうか。すっきりと目覚め、登校の準備ができたでしょうか。今月の目標である「心と体をきたえる」ためには、基本的な生活習慣を身に着けることが欠かせません。睡眠、食事、運動、その他に手洗い・うがい・入浴などで体を清潔に保つことも、元気に生活するためには大切なことです。一人一人が自分の生活を考えて行動することで、体と判断力が鍛えられていきます。

体とともに、心もたくましく鍛えていきたいものです。現代の子どもたちは、「自己肯定感が低く、自信がもてない傾向にある」といわれます。マイナスな出来事が起きたときに、すぐにあきらめてしまったり、「きっと自分にはできない」と新しいことに挑戦することを始めから放棄してしまったりすることが多いそうです。お子さんはそんなことはありませんか。学校では生活面でも学習面でも、子どもにとって楽しいこと・容易なことばかりではありません。困難にぶつかったときに自力で切り抜けていくためには、落ち込んだり失敗したりしても先へ進むための努力ができる、“しなやかな折れない心”をもつことが大切です。私たち教員は、子どもたちが「やってみようかな」「やったからこそ、こういうことが分かった」「頑張ってよかった」と思える声掛けと支援を心掛けています。

進級に向けての大切な３か月。折れない心と自信をもって進級できるよう、指導・支援していきます。

「特別支援教育への取組みについて」

スクールカウンセラー相談、いおぎ教室の利用、その他にも支援の仕方にはいろいろあります。もし、ご心配なことがあれば、いつでも遠慮なく担任かコーディネーターにご相談ください。一緒にお子様のことを考えていきましょう。

学校運営協議会（CS）は、原則公開制となっています。ただし議題の内容により、一部のみ公開とする場合もございますので、傍聴をご希望の場合は事前に傍聴希望の旨をお知らせください。

【連絡先：副校長　小瀧　３３９０－３１４１】